

弔 辞



第三代会長 伏見康治先生の御逝去を悼む

太田 時男

水素エネルギー協会 名誉顧問

去る5月8日、伏見康治先生（大阪大学、名古屋大学名誉教授）が入院先の病院で老衰のため御逝去されました。享年98歳、まさに天寿を全うされ、生涯をわが国の物理学研究体制整備のために捧げられた大往生と言うべきです。ここに HESS を代表して謹んで先生の本会への大きな寄与の一端を述べ、感謝と追悼の意を表したいと思えます。

先生は昭和8年、東大理・物理卒業、同助手を経て、昭和15年（以下年号はすべて昭和、平成はことわり、西暦は四桁）新設の大阪大学へ赴任され34年理学部長に、また36年には新設の名古屋大学プラズマ研究所所長に就任された。二つの旧制大学の名誉教授を持つ稀な方でした。52年から57年まで日本学術会議会長を務められ、わが国の学術体制の整備に尽くされた。58年から6年間公明党所属の参議院議員になられたが、一貫して科学者サイドの見識を示された。有名な業績としては、「学者の顔を札束でひっぱたく」と言った中曽根科学技術長官によって二分され、混乱を極めた当時の学会に於いて茅誠司先生の片腕として「原子力平和利用」推進の決定的役割を果たしたことである。「原子力三原則」を一夜で纏め上げた逸話は広く知られる（註1）。

52年の1月、朝日新聞の木村科学部長から電話があり「今般朝日新聞は水素エネルギー開発を全面的にバックアップ」することになったので、皮切りに2月21日朝日講堂で公開講演会を開催したいので講師として協力して下さいと言う。講師は二人で私が「水素の時代は何時来るか」、次に伏見先生が「核融合の現状と問題点」に決まった。500名定員の朝日講堂に600名近い立錫の余地も無い超満員の聴衆で、深く感激したのを覚えているが、そのとき以来伏見先生が水素エネルギーに強い支持を持っておられることを知り、会長をお願いすることにした。赤松会長も了承されたので52年4月から伏見第三代会長が実現した（註2）。よく先生のお供をして茅先生をお訪ねしあちこちの支援金、資金の寄贈をお願いに行ったものである。

Solar-Hydrogen Energy Systems (1979, Pergamon Press) Ed. by T. Ohta

もこのようにして日本証券奨学財団からの基金でうまれたもので、Science も取り上げ、学会で高い評価を受けた原書である。

55年6月23-26日、京王プラザホテルでの第三回世界水素エネルギー会議（名誉議長赤松秀雄、議長太田時男）は550名ほどの登録参加者（オープンのため登録外の参加者多数）で行われたがバンケットのスピーカーに伏見先生をお願いした。題目は「核融合」であった。

先生は、また優れた科学解説者としても知られ「図解科学」「科学知識」などの常連で私などは17、8歳の頃からお名前に親しんだものである。

平成20年1月に丸善から「光る原子、波うつ電子」と題した最後の科学解説書を出されたが、これは「図解科学」1941-1944掲載のものを纏めたものである。

また折り紙の名手で奥様とご一緒に嗜まれたが、一つ一つが理論的に裏づけられたもので横浜のお宅へ伺ったときなどに勧められたが到底ついてはいけなかった。

物理学の業績としては、たとえば湯川先生の「中間子論」や朝永先生の「超多時間理論」のような特定のテーマのもので特記すべきものは知られていない。

しかし「量子統計力学」（昭和23年11月）は600ページに及ぶ大部な名著で大阪大学における講義を纏められたものである。

以上私が知っている伏見先生のほぼすべてで、最近私の体調が悪く長い間ご無沙汰していたのを今更ながら残念に思う。

謹んでご冥福をお祈りしたい。

2008年8月8日

（註1）

「原子力とHESS」「原子力と水素エネルギー」について序にメモしておきたい。私がわが国（世界）初の水素エネルギーの総合解説を日経サイエンスに掲載したとき（1973年5月）明白にエネルギー源として太陽と原子力を前提としたが、これに対して「原子力はダーティーであって取り除くべき」という強い意見が多くよせられた一方、「当然のことで正しい」という発言もあった。学会でも赤松秀雄先生（HESS会長）と向坊隆先生（東大教授）は異なる見方をされていた。私は当時創設幹事長を経て副会長の雑用を一手に引き受けていたのでバランスをとって行くべく固い決心をしていた。

（註2）

水素エネルギー協会（HESS）初期の会長を列記しておく。

1. 昭和48年9月～49年3月 神田英蔵
2. 昭和49年4月～55年3月 赤松秀雄
3. 昭和55年4月～56年3月 伏見康治（学術会議会長就任の為退任）
4. 昭和56年4月～58年3月 赤松秀雄
5. 昭和58年4月～63年3月 太田時男（横浜国立大学学長就任の為退任）

太田時男（おおたときお）：

水素エネルギー協会創設幹事長、水素エネルギー協会第五代会長。横浜国立大学元学長、名誉教授。国際水素エネルギー協会創設理事・現副会長。

写真：「社団法人学士会「先学訪問」（平成19年7月発行）より引用。